嵐山雪仇討

十一
十二

へ13
3322
6

門へ13
3323
6

茶機榮

凡茶湯付巻之指

月次

一　濃茶仕利之事

茶入紙袋之事　紙袋と濃と

一　薄茶の点前之事

大日本史八十九
寄贈
本大學出版部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おもんみるに万人丈夫かなしきは
こゝぞ時に鈍ひかなしんまちあらく
みれしがたのみ聞けるあへつとも
今こゝに天をうけ世に肝を消しぬる息
ほそくみだれしかもあはれにむごゝろ
くうらまてもうり俳し排し角の
偸せられどもう営しみひ頭しその頃に
ところしれ高村の次の狼お前のは

利をゑらくりものこそひ継絶への秋くて
地蔵くいの前卑事力とゆふことに代
在かりしにくえてもあてても紫綾
出来ることくしそ木のみなり翁まゝ
深もたゝ主人の称かうくしもまた主人の
むさあみて芸育せしてん孫萬穀の国と
あのひ孫乃仕合かうの事のぐくいらい
ふてもはとしりやひらいす道をく仰

眉に顰しせ艶曲しく比翼のちぎり
それハ男女風流寵愛しとの[illegible]今まさに
の色別いありとハいへとも女ハ氏なくし
て玉の輿にのるといふたとへもあるに
天子将軍諸侯ハ百官の[illegible]
もとめをもつてかなふといへとも[illegible]今
縁つきなけれハ[illegible]婦とならずその例
さくふかしかるべし弓削の道鏡ハ

孝謙帝より[illegible]仏し白[illegible]亀[illegible]
後鳥羽の[illegible]とたまひその[illegible]
から[illegible]のひとりのむすめ
[illegible]女の[illegible]を
やどり[illegible]といふ[illegible]の
る[illegible]文親[illegible]のたりしらす
とも[illegible]
[illegible]のしき[illegible]と庭[illegible]

さてまり臥を擔んところに三しん候らく
命せしのち帰んでもけんのせんあいしん
ありしくめんすく時かくてきぜじい万人命下の
親なりつゝしてく五郷のめぐみうけて
みく好悔せしきまでやしいろう人作
しるす五ばんしてうり辛まなといつゝて
神ぞ引しもてきぜじ悪味めでゝ苦に
と辭へて楽所ののい五振まゝるなり

さて都ちの心ぞすいて角月にあかるま合
がしくいつしくひ歌いひくあやまりそろ
湯ぞ師ぞくとけ営ん乐しくく日下給
かへいろし代名かく人おぎまんいろぐし
くし不れんまおのくしてきぜじ口説ん
ぜやまり迎親利く断い代名かく人
みいそぬのやくと色深ぎんのすとか
ヘとくまて代名もゆ名しく男いさ給へ

こうぶんしひとへに尋親へ愛敬しておはしけり
者白くどこもしく目出度く婚姻いたし
のひたり
種々の方便をもつて清玄卿怪異に
あるとき
彩く桜姫清玄卿は頼みにて見参して婦人と下野
女とふたりけるかかる婚姻まで心しなり
ゆく後ひきわたしさうけれは宇都宮家のよしつくるも

大よそ此比は原の縁はいはひぬいくこくの
夫婦は代々かはらぬ家のよしくさだまり清玄卿
は両親してをり中ら天ま親くらし事常が
すい孫々に至る一義の家とも今日のふさはしけ
あるはまたやいふに清玄卿にこうして罷不
背おくでもつらのその手あまりおもひは
おうらにあらむつくしけ行年のかくるう
ゆくへしらず代宮外の気をみもは

いほをむすびし京より北にあたりて種
かの中山に住ける人の身のあとを
まよひ経廻りもなくさすらへ来ぬ
ころもへぬれば二日ばかりこそありけれ
又出て人まちて鬢の霜結ひとこころ懐
物思ひしゐたるおりふし行ところえて来る所の
古寺の中にたてこもりひおりしもおぼしけるうら
手にかけたるに清水寺の跡今の一遍

うけたまはり余所にてこそ年ふりしかど
此都にも引具して行にまかせて三井の
も碑の文ものはいかに思ひしもの数をも見つる
雲にかかりしを見ても浦辺の人のしるしも
ゆきてとうき都にまかりし所大のゆきを
おもしろく真人の案内をもちて三井寺
わたりて真人もとなしうつくしき松風
野路をと出て本の家に帰りける

志く翁は新袖のうへやりかつきく
ものゝさびしき裏の音ありてうかうかう
寂莫たる古寺に清兵衛ハ大膽ものにて
ひとりしばし眠りをもふけしかしそこ
あやしや奥のかた震動して物すごく
きこえるものありしが清兵衛中ハ眠りも
さらにもつかずしてあるは六天斗の
大入道黒雲の衣を着し緋しき袈裟かけ

清兵衛ハおどろきもせずひろひあげて敷あがりて
染綿とつかみかかりしが大入道
家をとりつけ家をたてゝ消えうせしが若
人来りしばし大気かはり歴々と角力と
えじんやたんばいかし清兵衛がまへに
此古寺は人のしれぬしひの入道ありて
このものも紙さへ角力ありしが
かけかし和尚法楽なりしへや入道をして

わき清の角力とぬくまへて角力
ときもとても秋津関のなしきんげをもらし
ちからも入清三郎角力小児のくれ
むまとめらで節にいかきて入たへ月く
こしみちまさ月ぐんでものへさもへ心
克からは清三郎動くもせず人みんず
何とうちからと雅もあしりや雄立
其屋るの風楼木清三郎一屋之角力

ふくらふおこる面しも出せしてくれくて
白眼しる入道かそくまして清三郎もうり
むつまりくしと仁かくかと清三郎
ちからとりぐんどこのくくそうくく組合
しる入たくくひうもくく縁くと通
さん絵く指つせるくくもせしろ
そうめけくあらふし清三郎打あい
だもいけん義にもいそで指原せん

気魂(きこん)のはげしきけれはおもて(あひて)をせんとおもひし
ものもさしもやみぬとなげく
おまつりのあり清きにかくとみゆる
半年の放蕩(らうたう)流義(りうぎ)の夜(こゝろ)と覚(かく)して(て)しらす
修行(しゆぎやう)とせんとして志しる人の大勢(そうせい)かく
ア乱(らんぬ)にして・さて中(なか)をまさるゝ
野卑(ろうか)の武家(ぶけ)天下(てんか)の英雄(えいゆう)なりし爰(こゝ)まで
多(ふ)のくの人とまりて足(そ)る(ろ)ゝ騒(さわ)ぎつく

人なし且しなし騒(さわ)ぐあし時(とき)のさき
いたりし新義真言(しんぎしんごん)の寺院(まい)ある護国寺(ごこくじ)の
領(りやう)を織(しき)しく三年あし八千軍めしく
近世(きんせ)にいたり移(い)りし継(けい)金(きん)五百両程(ほど)
帰(き)りし師範(き)しりし(?)とくこゝの
金(きん)のうと出羅(しゆつら)しのでなと古井(こゝ)と志あ
益(ゑき)なり卯年(うのとし)くへあらず布(ふ)もと絶(ぜつ)
彩(さい)あへて見てもすべくたとへて(が)で

ゆかりし若人都大のおもひをりける
そのしる程も昼のしく明年なまた恵と
たちらもかくれぬがくれし年経ぬる大
程血法とはりく別しはり二ヶ月
さく秋山のまへ嬉しきまことの
かぞんしくるまあしく命と誇へ
末の不便さといつ成人の歳へける
成人しくなりけれ袖をけしまだ

しるべのゆくへの縁に四季さく
古郷のまくと後世しかれ成仏なく
貧敷くるしのえくぶらん人の生
経らしく百姓もとゆいあんなく
古寺へりく井戸とうちあくまり
一つの飛脚ゆくりがれ世をとおち
明けくるゝ念仏西たしうふけり
ゆきとがうれし行くとゆふまく清

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月線

一　杉江平左衛門殿の事

嵐山参観討巻之拾弐

松坂平吉清之助より
對面の事

扨も或日清之助ハ只ひとり
母とも浅草観世音へ参詣しけるに
抑浅草観世音ハ人皇三十四代
推古天皇の御宇に宮戸川より

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年たる[illegible]十[illegible]年
[illegible]武[illegible]の[illegible]原
新[illegible]寺[illegible]法[illegible]の[illegible]和[illegible]
[illegible]府[illegible]十[illegible]の[illegible]
の[illegible]年[illegible]北条[illegible]の[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]

[illegible]和田合戦の[illegible]
[illegible]和田合戦
武[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

じ給ひしの姫ぎみの代になりて姫の
ゝ平左衛門殿に
みやしひもとめられ
きこゆ
きこゆるごとく
だいとく殿に
たゝかふ
ふつゝかなる
なりけり
姫ぎみ
なり
平左衛門殿
うぬぼれ
ものゝ
ふるまひ
なり
とのゝ
ごとく
ぶ
ぶ
ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]二首の詞を書

野辺の嵐の山の

[illegible]

吹まく風を[illegible]雪[illegible]

[illegible]の降[illegible]も

[illegible]

[illegible]嵐の山をとけて

[illegible]

[illegible]

[illegible]